

## 安全データシート

## ポリエチレングリコールモノオレイルエーテル n-10

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 製品名  | : ポリエチレングリコールモノオレイルエーテル n-10 |
| CB番号 | : CB0266149                  |
| CAS  | : 9004-98-2                  |
| 同義語  | : ポリオキシエチレンオレイルエーテル          |

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

|          |                                            |
|----------|--------------------------------------------|
| 関連する特定用途 | : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。 |
| 推奨されない用途 | : なし                                       |

## 会社ID

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 会社名 | : Chemicalbook      |
| 住所  | : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟 |
| 電話  | : 010-86108875      |

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1 GHS分類

水生環境有害性 短期（急性）(区分3), H402

皮膚腐食性 / 刺激性 (区分2), H315

水生環境有害性 長期（慢性）(区分3), H412

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

## 絵表示

GHS07

## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

H412 長期継続の影響によって水生生物に有害。

H315 皮膚刺激。

## 注意書き

## 安全対策

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋を着用すること。

## 応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

## 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

|                 |                                                                      |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------|
| 化学物質・混合物の区別     | : 化学物質                                                               |
| 別名              | : Polyethylene glycol oleyl ether<br>Polyoxyethylene (2) oleyl ether |
| 化学特性(示性式、構造式 等) | : C22H44O3                                                           |
| 分子量             | : 356.58 g/mol                                                       |
| CAS番号           | : 9004-98-2                                                          |
| 化審法官報公示番号       | : 7-97                                                               |
| 安衛法官報公示番号       | : -                                                                  |

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後は水を飲ませる(多くても2杯)。気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

適切な消火剤

泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

### 5.2 特有の危険有害性

可燃性。

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

炭素酸化物

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 10: 可燃性液体

### 保管条件

密閉のこと。

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の

保護具を使用する。保護眼鏡

#### 皮膚及び身体の保護具

##### フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

### 要

#### 身体の保護

#### 保護衣

#### 呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お

よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

|                |                                                      |
|----------------|------------------------------------------------------|
| 外観             | 形状: 液体色: 黄色                                          |
| 臭い             | データなし                                                |
| 臭いのしきい(閾)値     | データなし                                                |
| pH             | データなし                                                |
| 融点 / 凝固点       | 融点 / 凝固点: -4 °C at 約1,013 hPa                        |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲  | 約255 °C at 約1,013 hPa                                |
| 引火点            | > 240 °C - 平衡法 - ASTM (米国試験材料協会) D 93                |
| 蒸発速度           | データなし                                                |
| 可燃性 (固体、気体)    | データなし                                                |
| 引火上限/下限または爆発限界 | データなし                                                |
| 蒸気圧            | < 1 hPa at 20 °C - 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, A.4 |
| 蒸気密度           | データなし                                                |
| 密度             | 0.912 gPcm3 at 25 °C - lit.                          |
| 比重             | データなし                                                |
| 水溶性            | 1 grm/l at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 105                 |
| n-オクタノール / 水分  | log Pow: 7.5 at 25 °C - OECD 試験ガイドライン 117 - 生物蓄積の可能  |
| 配係数 (log 値)    | 性がある                                                 |
| 自然発火温度         | データなし                                                |
| 分解温度           | 約281 °C -                                            |
| 粘度             | 動粘度 (動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし                     |
| 爆発特性           | データなし                                                |
| 酸化特性           | なし                                                   |
| データなし          |                                                      |

### 9.2 その他の安全情報

データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

### 10.5 混触危険物質

強酸化剤

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

#### 急性毒性

吸入: データなし

LD50 経口 - ラット - 2,700 mg/kg

経皮: データなし

#### 皮膚腐食性 / 刺激性

(OECD 試験ガイドライン 404)

結果: 皮膚刺激性 - 4 h

皮膚 - ウサギ

#### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 陰性

(OECD 試験ガイドライン 405)

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

結果: 陰性

(OECD 試験ガイドライン 406)

ビューラー法 - モルモット

#### 生殖細胞変異原性

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

結果: 陰性

テストシステム: *Salmonella typhimurium*

試験タイプ: Ames 試験

方法: OECD 試験ガイドライン 471

#### 発がん性

データなし

#### 生殖毒性

データなし

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

誤えん有害性

データなし

## 11.2 追加情報

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - 13 週 - 無毒性レベル - > 500 mg/kg

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

質の研究は不十分と考えられる。

長期または反復暴露により起こることがある：, 吐き気, 頭痛, 嘔吐, 化学的、物理的および毒性学的性

RTECS: RK2800000

備考: 亜慢性毒性

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

魚毒性

半静止試験 LC50 - *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ) - 108 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

ミジンコ等の水生無脊椎動物

止水式試験 EL50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 51 mg/l - 48 h

椎動物に対する毒性

(OECD 試験ガイドライン 202)

ECx - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 0.048 mg/l - 21 d

藻類に対する毒性

止水式試験 ErC50 - *Desmodesmus subspicatus* (セネデスムス・サブスピカトウス) - > 100 mg/l - 72 h

微生物毒性

止水式試験 EC50 - 活性汚泥 - > 1,000 mg/l - 3 h

(OECD 試験ガイドライン 209)

### 12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 83.6 % - 易分解性。

(OECD テスト ガイドライン 301B)

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

## 12.6 内分泌かく乱性

データなし

## 12.7 他の有害影響

データなし

---

# 13. 廃棄上の注意

## 13.1 廃棄物処理方法

### 製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

# 14. 輸送上の注意

## 14.1 国連番号

ADR/RID（陸上規制）:- IMDG（海上規制）:- IATA-DGR（航空規制）:-

## 14.2 国連輸送名

IATA-DGR（航空規制）: Not dangerous goods

IMDG（海上規制）: Not dangerous goods

ADR/RID（陸上規制）: 非危険物

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）:- IMDG（海上規制）:- IATA-DGR（航空規制）:-

## 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）:- IMDG（海上規制）:- IATA-DGR（航空規制）:-

## 14.5 環境危険有害性

非該当

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）: 非該当

## 14.6 特別の安全対策

## 14.7 混触危険物質

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

詳細情報

強酸化剤

---

# 15. 適用法令



## 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

### 国内適用法令

消防法:

第4類:引火性液体, 第三石油類, 危険等級III, 非水溶性液体

毒物及び劇物取締法:

非該当

### 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

非該当

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

### 化審法

優先評価化学物質

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

IATA: 国際航空運送協会

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法（化審法）<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）<https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)  
[pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)

【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。